

ポスターセッション ポスター提示者

- P-01 市川侑乃 (電子オルガン奏者) P-02 飯島渉、結束麻紀 (学芸大学院生)
P-03 岩倉聖月、田丸智也、沖野成紀 (東海大学院生) P-04 楠田しおり (電子オルガン奏者)
P-05 齋藤 康之 (木更津工業高专) P-06 坂井康二 (厚木市いきいきサポーター)
P-07 西山淑子 (昭和音楽大) P-08 森松慶子 (電子オルガン演奏・評論)
P-09 曾 夢 (ソ ユメ。上海音楽学院) P-10 ハン・ヨンヒ (Han Younghee ソウル教育大学)
P-11 マーク・マンノ (Mark Manno 台湾・東海大学)

本学会としては、はじめてのポスターセッション。ポスター提示者は、海外からの3名を含めて11名が参加した。このセッションの目的は、多くの会員にフェイス to フェイスで情報交換を行うことにある。右の写真のようにパネルに自分や自分達の情報をポスターや張り紙で提示し、興味を抱いた人が提示人とフリーな会話をすることに特長がある。(企画・文責：阿方 俊)



P-01
市川侑乃 (電子オルガン奏者)
「Electone recital vol.4」への経過



P-03
楠田しおり (電子オルガン奏者)
- 電子オルガン×ソロダンスのユニット -
電磁カクテル



作曲・演奏 楠田しおり ソロダンス 小林 菜々

P-02
飯島渉、結束麻紀 (東京学芸大大学院)
「音楽づくりにおける
タブレット端末の活用」

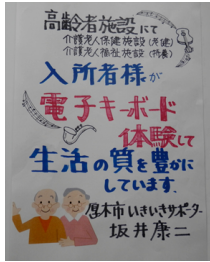
近年、情報化の進展を背景として、教育現場でも ICT (Information and Communication Technology) の活用が図られている。現行の学習指導要領においても、情報教育や授業における ICT 活用など、学校における教育の情報化について一層充実を図ることが明記されており、それを受けて平成 25 年には学校における ICT 関連教材等の教育環境・・・

P-04
齋藤 康之 (木更津工業高等専門学校)
タテ線譜と自動伴奏システムを併用した
ピアノ練習

タテ線譜は、昭和音楽大学の阿方 俊 先生によって発案されたピアノ初心者向けの新しい楽譜表記方法である。音高を表す円形の「節」と、節と節を連結する「枝」で構成され、節内に記されている指番号の通りに順番に鍵を叩くだけで正しい運指で楽曲を演奏できる。タテ線譜は非常に分かりやすいので・極めて短い練習時間で両手での演奏を可能に

P-05

坂井康二 (厚木市いきいきサポーター)
施設入居者 104 歳ほかと電子キーボード



P-06

西山淑子 (昭和音楽大学)
初心者のための「ピアノコンチェルト」曲集



P-07

森松慶子 (電子オルガン演奏・評論)
音の出口
(スピーカの配置、共演者・聴衆の聞こえ方)

ネタ帳より抜粋・・・

- ☆聴き手の耳に届くまでが“演奏”
 - ☆音楽的な音量バランスは、演奏家自身が状況を把握し、コントロールしたい
 - ☆せっかくの生演奏なら、奏者も聴衆もひとつの音響空間において時空を共に～
-

P-08

岩倉聖月*、田丸智也**、沖野成紀***
(*東海大院生、**教養教育センター、***教養学部)

～今の若者にとって電子キーボード音とアコースティック・ピアノ音に違いはあるか～

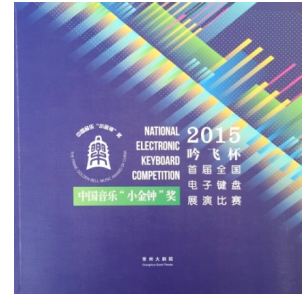
NIRS による脳血流測定

電子オルガンはテクノロジーの進歩によって出来ることも増えた反面、それでも解決されない根本問題のあることが、電子オルガン関係者によって指摘されている。例えば、レジストレーション、～.....

<海外からの参加者>

P-09

曾夢 (ソ・ユメ。上海音楽学院)
中国関連の電子オルガンイベント紹介
(2014～2015)



ソ・ユメ (上海音楽学院) The Prime Golden Bell Awards

P-10

ハン・ヨンヒ (ソウル教育大学)
電子ピアノオーケストラコンサート紹介
シリーズ (2002～2015)



ハン・ヨンヒ (SNEU) 電子ピアノオーケストラ

P-11

マーク・マンノ (台湾・東海大学)
アメリカのグループピアノ教材による
ML 教室を用いたレッスン紹介

